I 患者にとって最適な医療の提供

3. 断らない救急の実現

法人本部	総合医療センター	西和医療センター	総合リハビリテーションセンター
2センターの救急搬送率の現状分析、課題抽出、 対応検討し、救急受入体制構築を支援	< 救急車受入れ件数 > 1,951件(H25) → 2,400件	<救急車受け入れ件数> 2,353件(H25) → 2,500件	・地元消防本部との連携を強化するなど救急体制を 充実し、骨折などの救急患者の受入れを拡大
人材確保の課題整理と人材確保策の検討	<時間外救急患者数> 6,527件(H25) → 7,500件	<時間外救急患者数> 7, 123件(H25) → 7, 400件	・地域医療機関との連携
	<心筋梗塞·狭心症·慢性虚血性心疾患受入患者数> 491件(H25) → 500件	<心筋梗塞·狭心症·慢性虚血性心疾患受入患者数> 624件(H25) → 700件	
	<脳卒中受入患者数> 304人(H25) → 330人	<脳卒中受入患者数> 282件(H25) → 325件	
	<緊急手術・時間外手術(手術室)> 399件(H25) → 450件	・救急外来の整備	
	<救命救急センター病床利用率> 26.1%(H25) → 50.0%	・救急科の創設・救急専門医の確保	
	・ER型救急システム(救急患者に対応する診療体制)を確立し、救命救急センターと救急外来の役割と機能を統合、ルールに沿って搬送された患者すべてに対応可能な体制を検討	・救急・集中ケア等の専門・認定看護師の計画的育成を検討	
		・救急受入状況の検証	
	・救急隊員との連携強化コミュニケーションを図る機会を定期的に設置	・医師の当直翌日の勤務形態の改善(半日勤務)の検討	
	e-MATCH(救急医療管制支援システム)応需情報の リアルタイムの反映	・CPA(心肺停止)・心臓疾患・脳卒中・急性腹症の 積極的な受入	
	・救急認定看護師を中心とした教育・指導の実施による トリアージナースの育成、増員	・重篤な循環器系救急患者の受入	
	・緊急対応を含め、外科治療を要する患者に対する	・脳卒中の24時間早期治療体制の充実	
	手術体制を構築 麻酔科をと手術認定看護師の確保、養成	・最新の心臓超音波機器の整備	
	周術期管理チーム認定看護師の資格取得 手術室業務に対する多職種の協働を推進	・カテーテル治療(体腔や血管内に中空の管を挿入して 行う検査や治療)室の増設の検討	
		・集中治療部門、救急外来、総合管理的システムの構築を検討	
		・循環器病研究センター、カテーテル治療部門の 機能的運用システムの検討	
		・CEの当直の実施	
		・ER病床の充実強化(7床)	